

2021年2月7日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第44号(通算3221号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい
降誕節 第7主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。**インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

ぜん そ う もく と う
前 奏 黙 祷

まね ことば しへん
招きの詞 詩編

へん せつ
103編11-12節

さんび か ばん かみ わたし すく だ
賛美歌 21-452番「神は私を救い出された」(©JASRAC)

せい し ょ ねつ おう き げ
聖 書 列王記 下

しやう せつ
5章1-14節

いの
お 祈 り

さんび か ばん くら よる せつ
賛美歌 21-439番「暗い夜」(1, 2, 6, 9節のみ)(©JASRAC)

かみさま ちから はたら ばしよ
メッセージ「神様の力が働く場所」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんび か ばん ばん しゅ
賛美歌 21-196番「主のうちにこそ」(©JASRAC)

ユ-カリスト
聖 餐

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

ぎやうどう いの へいわ
共のお祈りと、平和のあいさつ

さんび か ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

さ ぎげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ふく
祝 福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こう そう ばん ばん きやうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

ほう こく ペ-ジ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた さき
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 103編 11-12節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

¹¹天が地よりも高いように／主の慈し^{いつく}しみは主を畏^{おそ}れる者をはるかにしのぐ。

¹²東が西から遠いように／主は私たちの背きの罪を遠ざける。

聖書 列王記 下 5章 1-14節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

¹アラムの王の將軍ナアマンは、主君に重んじられ、気に入られていた。主が彼によってアラムに勝利を与えられたからである。ただ、この人は力ある勇士であったが、規定の病^{まてい やまい わずら}を患っていた。²かつてアラムは^a部隊を組んで出撃したとき、イスラエルの地から一人の少女^{ほりよ}を捕虜として連れて来た。彼女はナアマンの妻に仕^{つか}えていたが、³あるとき、女主人にこう言った。「ああ、ご主人様がサマリアにいる預言者のところにお出でになれば、その規定の病を癒やしてもらえるでしょうに。」⁴そこで、ナアマンは主君のもとに行き、「イスラエルの地から来た若い女が、このようなことを申しております」と伝えた。⁵アラムの王は、「行って来なさい。私もイスラエルの王に手紙を送ろう」と答えた。ナアマンは、銀十キカル、金六千シェケル、着替え十着を手にして出かけた。⁶彼はイスラエルの王への次のような手紙^{たずさ}を携^{たづさ}えて行った。「さて、この手紙をお手元に届けますと同時に、家臣^{かしん}ナアマンを御前^{みまえ}に遣わします。彼の規定の病を癒やしてくださいるように。」⁷イスラエルの王はこの手紙を^{ころも}読むや、衣^{ころも}を引き裂いて言った。「私は、人を殺したり生かしたりする神なのか。この者は、私に規定の病の男を癒やせと送って来ている。だが、よく考えてみよ。彼は私に^{ころも}言いがかりをつけようとしているのだ。」

⁸神の人エリシャは、イスラエルの王が衣^{ころも}を引き裂いたことを聞くと、王に人を送って言った。「なぜ、あなたは衣を引き裂いたりしたのですか。その男を私のところによこしてください。そうすれば、イスラエルに預言者がいることが分かるでしょう。」⁹ナアマンは馬と戦車でやって来て、エリシャの家の戸口に現れた。¹⁰エリシャは、使いの者をやって、「ヨルダン川に行き、七度身^{ななたび}を洗いなさい。そうすれば、あなたの体は元に戻り、清くなるでしょう」と言わせた。¹¹ところが、ナアマンは怒^{いか}って立ち去り、こう言った。「私は、彼が自^{みづか}ら出て来て私の前に現れ、彼の神、主の名を呼んで、患部に手をかざし、病を癒やすものとばかり思っていたのだ。¹²ダマスコの川である^bアバナやパルパルのほうが、イスラエルのどんな水よりも良いではないか。それなのに、これらの川で洗っても、清くなれないというのか。」ナアマンは身^{ひるがえ}を翻^{ひるがえ}し、憤^{いきどお}って立ち去った。¹³しかし、家臣^{かしん}たちがそばに来て進言した。「^cご主君、あの預言者が大それたことを命じたとしても、あなたはきっとそれをなされたことでしょう。ましてあの方は、『身を洗って清くなれ』と言っただけではありませんか。」¹⁴そこで、ナアマンは^{くだ}下^{くだ}って行き、神の人の言葉どおり、ヨルダン川に七度身^{ななたび}を浸^{ひた}した。すると、その体は、少年の体のように清くなった。(脚注 a: 別訳「略奪対」、b: 別読「アマナ」、c: 直訳「わが父」)

メッセージ「幸せはどこにある？」より

聖書：マタイによる福音書 4章23節－5章12節

今回の聖書は「マタイによる福音書」5章の冒頭にある「幸い」の箇所でした。直前の4章23節以降には、様々な病気に苦しむ人たちなど町や村でも忌避され差別されていた人たちが、イエス様の周りに集まって来たことと記されています。そしてイエス様は、そのような人たちに対して「あなたたちは幸いである」と語られましたが、本当に「あなたたちはハッピーだよ、ラッキーだよ」と言われたのでしょうか。どうもこの「幸いである」という翻訳を見直す必要があります。この言葉の元々の意味は「祝福されている」です。「祝福」とは一体何でしょうか。「祝福」を物質的な豊かさや身体的な健康と考えると、イエス様の周りに集まって来た人たちは、祝福されていない不幸な人たちということになります。釜ヶ崎で聖書を読み直している本田哲郎先生は、この「祝福されている」を「神からの力がある」と訳しています。「祝福されている」とは、そこに他でもない神様の力が共にあって働いているということ。そのように理解する方が、歴史のイエス様が様々な病気に苦しむ人たちに対して語られた言葉として、ふさわしいのではないかと思います。

もちろん、貧しくあること、悲しんでいることが、良いことであり、幸せなことではありません。それらから解放されるように、働きかけ立ち上がっていくことが必要であり、そのために共に働く仲間たちの手を介して、神様の力が働きます。また生活困窮者や終末期の方々と接する時に、「支援する側・される側」という一方的な関係を越えて、その場に働く不思議な力、人間存在の持つ美しさやすばらしさ、解放感を共に感じられることもあります。一見「不幸」に見えるそのような場でこそ、神様の力が働いていることが、確かに感じられるのではないのでしょうか。

「幸せはどこにあるか」ということについては、聖書に限らず古今東西、多くの人々が語って来たことと思います。しかし、歴史のイエス様の生き様、言葉と振る舞いは、そんな「幸せ」については、何も述べられていないように思います。少なくとも、十字架に架けられて殺された受難は、そんな「幸せ」の対極にある出来事でした。むしろイエス様がその歩みをもって示されたのは、命の源である神様からの力を頂きながら、神様と共に歩む生き方だったのではないのでしょうか。今日、このコロナ禍の中を生かされている私たちもまた、そこに連なるようにと、ここから招かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (1月31日)

礼拝出席 大人4名 献金 大人6,000円 感謝

◎次週 2021年2月14日(日) 信教の自由を守る日(降誕節 第8主日) 礼拝

招きの詞 詩編 107編 13-16節

聖書 マタイによる福音書 14章 22-33節

メッセージ 「風が強いからこそ」水谷憲牧師

賛美歌 21-211番、1954-126番、21-529番 (いずれも©由木康 (JASRAC))

礼拝はインターネットで中継配信いたします。

礼拝後には「聖書を読む会」を行う予定です。テキストは『創世記』28章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。



◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、大阪府に1月14日から2月7日まで出されていた「緊急事態宣言」は、3月7日までに延長され、引き続き不要・不急の外出・移動の自粛が要請されています。教会では感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・本日、礼拝後に2月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方がいらっしゃいましたら、どうぞご出席ください。主な議案は、教勢報告、会計報告、今後の礼拝・行事予定、2020年クリスマス献金の送金額、慶弔規定、備品についてなどです。
- ・毎月第2木曜日に、釜ヶ崎・いこいの家で行われている本田哲郎神父との「聖書を読む会」は、コロナの感染拡大や緊急事態宣言などの状況から、先月と今月は休会となっています。来月11日より再開できればと計画しています。
- ・2月19日(金)14時30分~16時15分に、聖和短期大学研修会「子どもの育ちを支えるために」(講師・森本宮仁子さん)がオンラインで開催されます。参加費は無料、先着100名までです。

お申し込みは2月8日(月)〆切。
詳細・お申し込みは、聖和短期大学のウェブサイト、もしくは右のQRコードご参照ください。



2020年度 聖和短期大学 研修会
 テーマ「子どもの育ちを支えるために」
 オンライン開催
 2021年2月19日(金) 14時30分~16時15分
 講演 講師：森本 宮仁子 (もりもと・くにこ) 氏
 「コロナ禍だけれど、子どもたちから元気ももらえて」「保育の楽しさ・おもしろさ」
 14:30
 16:15

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
2/14	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	水谷牧師	(信教の自由を守る日) 聖書を読む会
2/21		牛田牧師	
2/28		牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
3/7		牛田牧師	ユークリスト・教会を考える会

参加費：無料
 申込方法：以下QRコードまたは聖和短期大学HPよりお申し込みください。
 開催2日前までに、ご登録いただいたメールアドレス宛にZoomのURLをお送りいたします。
 [QRコード] [聖和短期大学HP]
 https://www.kwansei.ac.jp/seiwa_j_college/news/detail/401
 申込〆切：2021年2月8日(月)
 募集人員：100名(先着順)

【問い合わせ先】 聖和短期大学事務局 (TEL 0798-54-6504)
 〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山7-54